

多摩美術大学アートアーカイヴセンター (AAC) へのお誘い

「アートアーカイヴ」とは、アーティストの制作活動のなかで生み出された各種資料（スケッチ、下絵、原稿、ノート、書類、蔵書、写真、収集品など様々）の集合体のことです。AACは、多摩美術大学に収集・蓄積されてきたアートアーカイヴを総合的に保存・整理・活用していくための研究教育拠点として、2018年に設立されました。

タマビゆかりの作家、研究者たちはどのように学び、考え、発表してきたのでしょうか。彼らの活動から生まれた数々の貴重な資料を、生きた教材として学生の皆さんに利用していただくため、ここでアーカイヴを構築し、公開しています。ここにしかない資料を、授業での利用、個人としての閲覧や研究にぜひお役立てください。

AACの活動や調査・研究成果は、年報／研究紀要の発行（10月）、シンポジウムの開催（12月）、資料展の開催（年3回程度）などを通して、学内だけでなく国内外にも発信しています。

資料閲覧申込方法はAACウェブサイトをご覧ください。資料や閲覧についての相談も随時受け付けています。皆さんのご利用をお待ちしています。



多摩美術大学アートアーカイヴセンター

〒192-0394
東京都八王子市鎌水 2-1723
多摩美術大学八王子キャンパス アートテーク 4F

■お問合せ (9:00-17:00)
T : 042-679-5727 E : aac@tamabi.ac.jp
W : <https://aac.tamabi.ac.jp>
Twitter・Instagram : @tamabi_aac



Website



Twitter



Instagram

所蔵資料体一覧 (2023年3月現在)

AACでは、現在、17の資料体を所蔵し、公開に向け、整理を精力的に進めています。資料体の詳細はAACウェブサイトをご覧ください。

資料体名	公開状況	概要	概数
秋山邦晴資料	△	スクラップブック、印刷物、蔵書、書簡、写真、研究ファイルほか	2,500
安齋重男 フォトアーカイヴ	△	写真、ネガデータ、作品掲載書籍、絵画作品ほか	2,300
大野美代子アーカイヴ	◎	写真、検討書、スケッチブック、図面ほか	280
勝見勝アーカイヴ	○	世界のグラフィックデザイン作品、書類、博覧会・オリンピック資料	6,000
加山又造アーカイヴ	◎	下絵、デッサン、版画原画／過程	7,000
北園克衛文庫	◎	詩集、同人誌、原稿、写真作品ほか	350
佐藤晃一アーカイヴ	△	ポスター、装丁、写真、幼少期作品	2,000
瀧口修造文庫	◎	書籍、書類、スケッチブックほか	10,000
三上晴子アーカイヴ	○	作品、画像データ、スケッチ、蔵書	7,600
もの派アーカイヴ	△	もの派関連画像データ	6,700
文様アーカイヴ	○	アジアのテキスタイル、写真、スライド、調査資料ほか	200
山名文夫アーカイヴ	○	装丁本、パンフレット類ほか	120
横山操資料	△	画材、文献資料、写真	300
和田誠アーカイヴ	△	幼少期から没年まで全作品と資料	50,000
サイトウマコト ポスターコレクション	△	ポスター、校正刷り	180
竹尾ポスター コレクション (寄託)	○	20世紀の歴史的な名作ポスター	3,200
DNPポスター コレクション	△	田中一光、永井一正、福田繁雄の名作ポスター	1,800

◎：公開中 ○：応相談で公開 △：未公開（公開準備中、学内のみ公開）

多摩美術大学アートアーカイヴセンター所蔵資料展 1 和田誠アーカイヴ

和田誠の世界 I

会 期：2023年4月3日 [月] - 5月13日 [土]
会 場：多摩美術大学八王子キャンパス アートテーク 2F
竹尾ポスターコレクションギャラリー
時 間：10:00-17:00
休館日：日曜日、5月2日 [火] - 6日 [土]
主 催：多摩美術大学アートアーカイヴセンター
監 修：高橋 庸平 AAC 所員・多摩美術大学グラフィックデザイン学科 准教授

「女優ハリウッド・リメンバーズ 2 Pin-up Girls」ビデオジャケット原画 (1990)



■アクセス：JR 横浜線・京王相模原線橋本駅北口から神奈川中央バス「多摩美術大学行」で約 8 分
JR 八王子駅南口から京王バス「急行 多摩美術大学行」で約 20 分
路線バス時刻表などは大学ウェブサイトの「交通アクセス」をご覧ください
<https://www.tamabi.ac.jp/access/>
駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください



和田誠の世界 I

会 期：2023年4月3日[月] - 5月13日[土]
 会 場：多摩美術大学八王子キャンパス アートテーク 2F
 竹尾ポスターコレクションギャラリー
 時 間：10:00-17:00
 休館日：日曜日、5月2日[火] - 6日[土]
 主 催：多摩美術大学アートアーカイヴセンター
 監 修：高橋 庸平 AAC 所員・多摩美術大学グラフィックデザイン学科 准教授



「朝日ビデオライブラリー チャップリン作品集 vol.7」
 『独裁者』ビデオジャケット原画 (1986)



原画収納箱 [映画に関するもの②]

ごあいさつ

多摩美術大学アートアーカイヴセンター (AAC) は、入学と進級を祝い、所蔵資料による「和田誠の世界 I」展を公開します。アーカイヴの展示では、完成作品だけでなく、完成作に至るまでの経緯や、制作のための準備・調査、オリジナル作品の多岐にわたる活用など、多彩な資料を見ることができます。通常の美術展とはひと味違う、通常は見ることのない舞台裏も含めて、専門的な興味を深める機会となることでしょう。AAC が所蔵する「和田誠アーカイヴ」約5万点から、ここに展示できるのは大海のほんの1滴になりますが、在学生の皆様は所蔵資料を自由に閲覧することができます。本展を契機に、AAC の扉を開いて本学の研究資源の活用に歩を進めてください。

AAC 所長・多摩美術大学大学院 教授 光田 由里

関連イベント

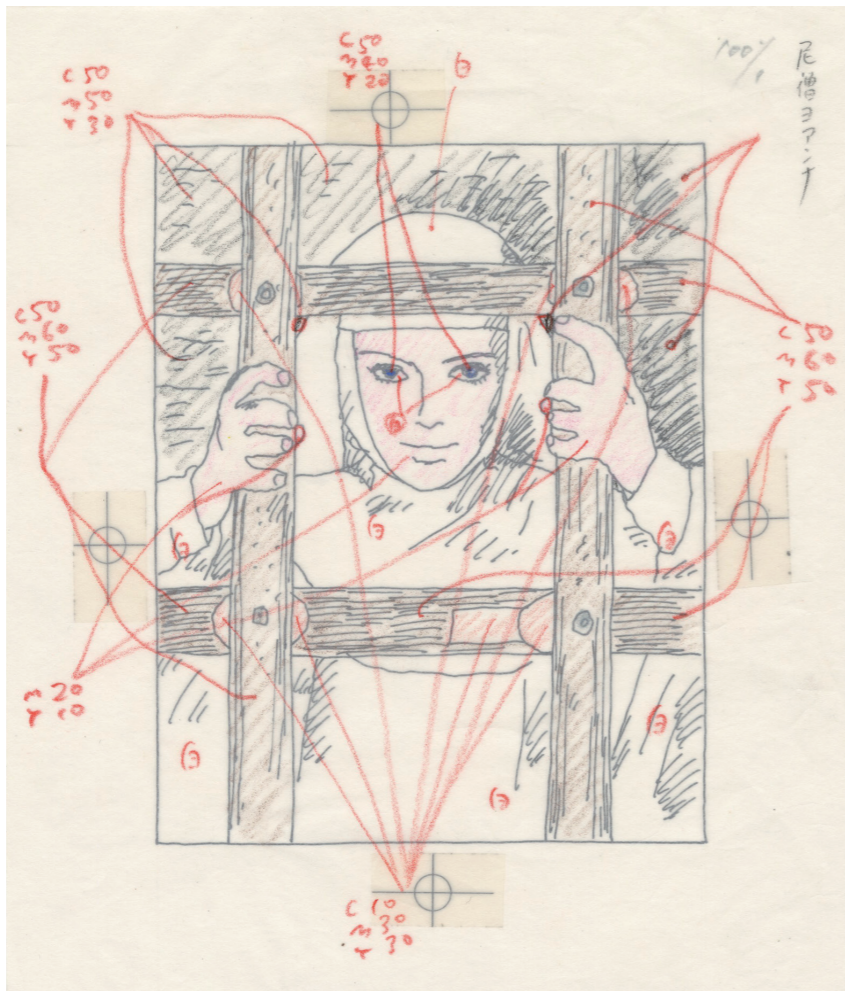
AAC 資料展 ガイドツアー

日 程：4月10日[月] - 14日[金]

説明開始：①12:10- / ②16:30-

集合場所：展示会場

学生の皆さんに向けて、会期中に展示資料の紹介や AAC の利用方法、所蔵資料体の紹介をするガイドツアーを開催します (各日2回)。所要時間は各回 20-30 分程度です。最新情報は AAC のウェブサイトや SNS をご覧ください。



「朝日ビデオ文庫 ポーランド映画傑作選」『尼僧ヨアンナ』ビデオジャケット色指定付原画 (C.1990)

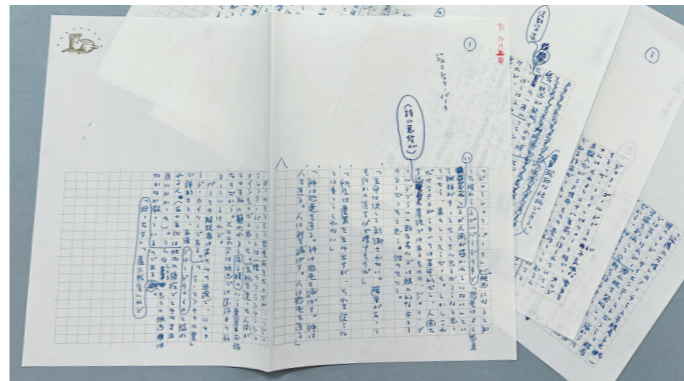
本展覧会について

2トトラック 10 台分もあるという「和田誠アーカイヴ」にスポットライトを (少しずつではありますが) 当てながら、「和田誠の世界」を紹介することを目的とした本企画。今回ご紹介する資料のキーワードは「映画」です。和田誠はイラストレーターやグラフィックデザイナーとして、たくさんの映画の仕事に携わってきました。その関連資料の数々には、チャップリンやマリリン・モンローをはじめ、たくさんの誰もが知っているスターたちの姿を見出すことができます。それだけでも十分に楽しめますが、これら仕事の背景には映画への愛情も感じることができます。それらを裏付ける豊かな経験や知識の積み重ねを合わせてご覧ください。

AAC 所員・多摩美術大学グラフィックデザイン学科 准教授 高橋 庸平



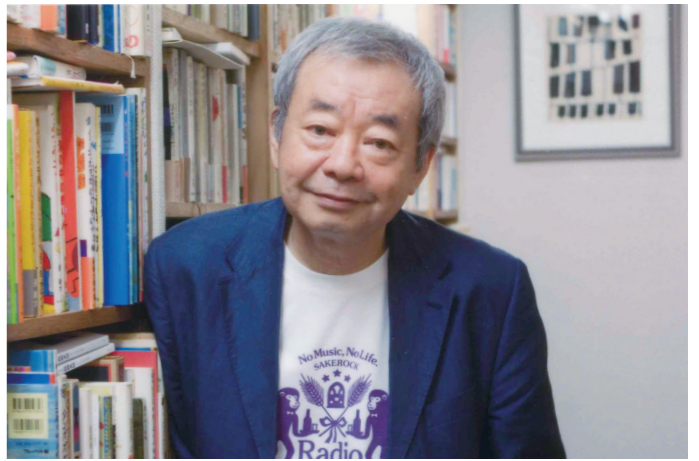
クリッピング収納封筒 [チャップリン]



「お楽しみはこれからだ」直筆原稿 (『キネマ旬報』1993年10月上旬号)

和田誠アーカイヴ

和田誠 (1936-2019) は、多摩美術大学を卒業し、イラストレーター、グラフィックデザイナーとして活躍した本学を代表する卒業生のひとりです。映画監督、エッセイスト、作曲家、アニメーション作家などの顔も持ち、その仕事は多岐にわたり膨大な量です。AAC は 2020 年、和田誠事務所から約 5 万点の資料をご寄贈いただきました。ポスターや装丁本、各種グッズ類、原画、下図、版下、取材・調査ファイル、蔵書だけでなく、幼少期からの作品とノート、本学在学中の習作など、ここにしかない和田誠の全貌を所蔵することになり、鋭意整理と保管に務めています。全国を巡回中の「和田誠展」や『週刊文春』表紙にも、AAC が資料貸出をしています。



和田誠 [1936-2019]

イラストレーター、デザイナー、映画監督
 多摩美術大学図案科卒業 [1959]

1936年	0歳	・4月10日、大阪にて生まれる
1945年	9歳	・東京にある祖母の家に移るが空襲が激しく、すぐに千葉県の実家の家に疎開、終戦を機に東京に戻る
1949年	13歳	・雑誌『少年少女』に漫画「やんちゃくらす」を1年間連載する ・映画を月に2、3回見に行くようになる
1953年	17歳	・高校の先生の似顔絵で時間割表をつくる クラスメイトたちが定期入れに入れて使用した
1955年	19歳	・多摩美術大学図案科 (現グラフィックデザイン学科) に入学
1956年	20歳	・「水虫薬アルバー」の新聞広告デザインで毎日商業デザイン賞に入選
1957年	21歳	・映画『夜のマルグリット』の手描きポスターで日宣美賞を受賞
1959年	23歳	・多摩美術大学を卒業後、広告制作会社であるライトパブリシティに入社 ・「新宿日活名画座」のポスターを無償で描き始める
1960年	24歳	・たばこ「ハイライト」のパッケージデザインが指名コンペで採用され、発売される
1961年	25歳	・NHK『みんなのうた』初回「誰も知らない」のアニメーションを手がける
1964年	28歳	・アニメーション映画『MURDER!』で毎日映画コンクール大藤信郎賞を受賞 ・横尾忠則、宇野亞喜良らと東京イラストレーターズ・クラブを設立する
1965年	29歳	・雑誌『話の特集』のアートディレクターを担当する 表紙には横尾忠則を起用した ・自身の作曲集である、絵本『4人目の王さま』が発行される
1968年	32歳	・ライトパブリシティを退社し、独立する ・雑誌『週刊サンケイ』の表紙の似顔絵の仕事が始まる 1973年まで続き、描いた人物は200人以上になった
1977年	41歳	・雑誌『週刊文春』の表紙イラストの仕事が始まる 以後、2017年までの40年間で2000号分を手がけた (2017年7月20日号以降から今日までは、過去の傑作選によるアンコール企画が続けられている)
1984年	48歳	・監督・脚本を務めた映画『麻雀放浪記』が報知映画賞新人賞を受賞 以後『快盗ルビィ』『怖がる人々』『真夜中まで』『ガクの絵本』を監督
1993年	53歳	・エッセイ『銀座界限ドキドキの日々』(文藝春秋) で第9回講談社エッセイ賞を受賞
1997年	61歳	・絵本『ねこのシジミ』(ほるぷ出版) で第3回日本絵本賞を受賞
2013年	77歳	・第2回東京装画賞ホール・オブ・フェイムを受賞
2015年	79歳	・第44回日本漫画家協会特別賞を受賞
2019年	83歳	・10月7日、死去
2020年		・和田誠事務所から多摩美術大学アートアーカイヴセンターへ約5万点の資料および作品が寄贈される
2021年		・東京オペラシティアートギャラリーで「和田誠展」が開催される
現在		・「和田誠展」は2022年から2023年にかけて、熊本、新潟、福岡、岡山、京都、愛知の全国6箇所を巡回 現在は岡山県立美術館にて開催中 [3月24日(金) - 5月7日(日)]